

西吾妻山山行報告

【山行日】2023年 3月 25(土) 曇り
【集 合】栃木市運動公園P AM 4:00
【費 用】マイカー1台 5900円
【メンバー】CL:鈴木、SL:廣瀬
石澤、小林、福島、吉田

【コースタイム】栃木市運動公園 P4:00＝
道の駅「たじま」5:00/5:15＝グランデコ
P7:40/8:00+++山頂駅 8:20/8:30～衣服調整
9:00/9:05～西大巔 10:30/10:40～西吾妻山
11:30/11:35～避難小屋 12:00/12:15～
西大巔下 13:40/13:45～山頂駅 13:40/13:45+++
グランデコ P14:00/14:10＝栃木市運動公園 P16:40



今日は会津駒ヶ岳山行の予定だったが、3日前から天気予報が二転三転して前日の天気予報で決行することにした。ところが当日朝の天気予報が変わり、会津駒ヶ岳は雨の予報に変わっていた。



とりあえず予定通り栃木市運動公園を4時に出発し、道の駅「たじま」で会津駒ヶ岳に向かうか判断することにした。東北道を北上し西那須野塩原ICを出て国道400号線を進み、上三依から国道120号に入って道の駅「たじま」に着くと雨が降っていた。朝の予報通り桧枝岐は雨と判断し、雨マークが15時からとなっていた西吾妻山に変更しグランデコスキー場へ向かった。そのまま121号線を北上し、会津若松市を經由してグランデコスキーリゾート駐車場に着く。

係員が来て駐車料金を払うと「今日は混雑するので8時からゴンドラが動くので、早く行った方がいいですよ」と教えてくれた。急いで出発の支度を整え、レストハウスへ向かった。レストハウスでトイレを済ませ、チケットを購入してゴンドラ乗場に行くと大勢並んで待っていた。列の最後尾に並びしばらく待つと乗ることが出来た。山頂駅で降りると「下りの最終は15時です、」と何回も言われた。山頂駅を出てストレッチを行い、アイゼンは付けずに登って行く。雪は締まっていて歩き易いがトレースははっきりせず、薄いトレースを追いながらゆっくり登って行く。先行する女性4人組に追いつくと「アイゼン付けずに登れるなんてベテランですね」と声を掛けられ、「登りはアイゼンを付けずに頑張ります」と答え追い越して行く。



リフト上部まで登って小休止し、衣服調整と水分補給を行う。風が無く気温も低くないので汗ばんで、



上衣を脱いで丁度よい。ここから西大巔まで急登が続き無言でひたすら登り続けるが、後ろの若い人達はおしゃべりしながら余裕で登っていた。歳の差をひしひしと感じながらなんとか西大巔手前の小ピークまで登り、少し下った鞍部で休憩しアイゼンを付ける。西大巔山頂は風があると思うので、皆さんに上衣はここで着るように指示する。鞍部から一登りで西大巔山頂に着き、目の前に広がる大展望に皆さん大満足。南に磐梯山が槍ヶ岳のような鋭鋒を天に突き上げ、北には長

大な飯豊連峰が連なり目の前にはこれから登る西吾妻山が佇んでいる。デコボンや菓子を食べながら展望を楽しむが、予想した通り風が少し強いので風を避けるように山頂を後にする。西吾妻山へは東に下り広大な雪原を進むが、トレースが幾筋か付けられておりなるべく上部のトレースを進むようにする。厳冬期には樹氷原になりスノーモンスターが林立するが、3月ではスノーモンスターは消えて見ることが出来ない。視界が良いので迷う心配はなく、真っすぐ西吾妻山頂に向かったが踏み抜きで苦労した。山頂手前は踏み抜き地獄で、何回か踏み抜いて足を抜くのにも苦労した。



ようやく西吾妻山山頂に着いたが、山頂標識が雪に埋まりピンクリボンが樹に着けてあるだけだった。コースタイム通りに登れ、記念写真を撮ったら山頂を後に避難小屋に向かう。避難小屋に着き小屋の中で昼食を食べようとしたが、小屋の内部は暗くホコリっぽいというので小屋の外で昼食を食べることにする。それぞれ持参したパンやカップ麺をいただき、ランチが済んだら下山開始する。下山は往路を戻り、西大巔は巻いて進み下って行く。下りはアイゼンを効かせて

ガシガシ下り、無事にゴンドラ山頂駅に戻った。アイゼンを外したらゴンドラに乗り、レストハウスでトイレ済ませたら駐車場に向かう。靴を履き替えたら車に乗り帰路につく。国道115号線を走り猪苗代磐梯高原ICから磐越道に入り、郡山JCTから東北道に進み栃木市運動公園へ無事帰着した。会津駒ヶ岳には登れなかったが、急遽変更して西吾妻山に登れ皆さん大満足の山行となった。